



広報

いわきヒューマンカレッジ 開学10周年



入学式・開学10周年記念式典

いわきヒューマンカレッジは、市民の高度で専門的な学習ニーズに 대응するため、市内の二大学と高専、市民ボランティアの協力のもとに実施している市民のための大学です。

本年度は、市制施行40周年および開学10周年を記念し、現代的課題や「いわきらしさ」に対応したボランティア学部・地域経済学部・人間環境学部・いわき学部の4学部を開設いたしました。



入学式・開学10周年記念式典

入学式は、8月27日にいわきワシントンホテル椿山荘で開かれ、榎田一男理事長（市長）の「学習の成果を、地域づくりや今後の本市の発展のために活かしてください」とのメッセージが、砂子田敦



ボランティアの会への感謝状贈呈

博副理事長（教育長）から伝えられるとともに、学長の童門冬二先生から「最後まで強い意志を持って受講され、全員が修了されることを願います。」と、励ましの言葉が贈られました。

続いて、15歳から89歳までの入学生378名を代表して、いわき学部の小荒井貴子さんが、「全課程の受講終了を目指し、本学の精神にもとづいてしっかり学び、本市の生涯学習の推進に寄与したい」と、受講にあたっての強い決意が述べられました。

引き続き行われた開学10周年記念式典では、本カレッジの企画・運営に参画されている、「いわき市生涯学習支援ボラ



入学生代表挨拶

ンティアの会」に、童門学長から感謝状が贈られ、長年のボランティア活動が讃えられました。

学長記念講演

入学式・記念式典終了後、童門学長による「戦国の共に生きる夫婦 ―一豊と千代―」と題した、開学10周年記念講演では、「戦国時代という無秩序な社会の中で、人間としての正しい生き方、こうあるべきであるというものを手探りで、終始マラソンコースの中で、発見をし合



童門学長による記念講演

い、確認し合い、合意して、一国一城の主を目指して二人三脚で駆けていった」と、乱世を生き抜いた一豊と千代を評しました。

また、「あの人なら」といわれる『いわきらしさ』をぜひ身につけてほしい」という、いわき市民に向けた熱い思いが語られ、一般市民を含めた750名の聴衆が深い感銘を受けていました。

平成18年度 いわきヒューマンカレッジ講義のようす

ボランティア学部 (いわき明星大学)

現在実践されている様々なボランティア活動が、効果的・有効的に展開されるよう、生涯学習やまちづくりの観点から学んだ。



地域経済学部 (東日本国際大学)

世界経済の動向に連動する地域経済について学び、いわき市の来し方・行く末に関わる問題について考えた。



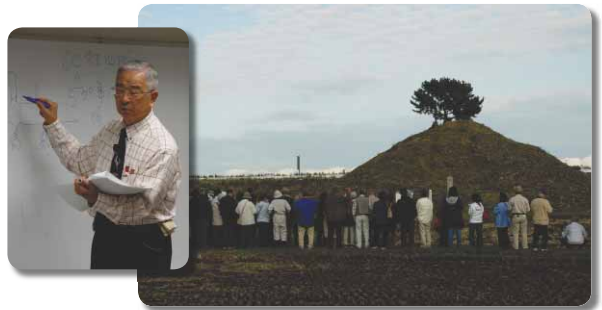
人間環境学部 (福島工業高等専門学校)

人間をベースに地球環境問題を追究し、いわきにおける環境と社会について、グローバルかつローカル(いわき)に環境問題を学んだ。



いわき学部 (生涯学習プラザ)

いわきの神事と民俗芸能、語り物文学について学び、史跡めぐりをとおいしいわきの原始・古代に触れ、常磐炭田閉山後の経済について学んだ。



修了式・記念講演

修了式は、11月26日、入学式と同じいわきフシントンホテル椿山荘で、修了生271名の出席のもと行われました。

修了式では、専門学長から「どうか『いわきから日本を変える』という高い志のもとに、今後は地域のみずみずしいリーダーとして活躍下さることを心からお願いたします」という、修了生へ向けてのはなむけのメッセージが寄せられました。

続いて、砂子田教育長から各学部の代表者に修了証書が授与されました。



最後に、ボランティア学部の勝間田聰恵さんが、「当カレッジで学んだことを基盤に、潤いのある豊かな日常生活を目指し、地域社会の発展のために貢献したい」という挨拶で式を終了しました。

修了式に続いて、当カレッジ常任理事の神山敬章先生による「いわきヒューマンカレッジ10年の回顧と展望」と題した、記念講演が行われました。開学当時のエピソードや思い出話などを交えながら、本カレッジの10



年の歩みを、生涯学習の視点から振り返り、本カレッジの果たす役割の重要性について話されました。

第3回 生涯学習フェスティバル

環流 発見 学びあい

いわき市生涯学習プラザでは、利用団体の成果発表と市民との交流をテーマに、第3回生涯学習フェスティバルを開催します。市民の相互交流・親睦を深め、生涯学習に対する関心やネットワークがひろがることを期待しています。

日時 平成19年2月24日(土)・25日(日)
午前9時30分～午後4時30分

会場 いわき市生涯学習プラザ
いわき市消費生活センター

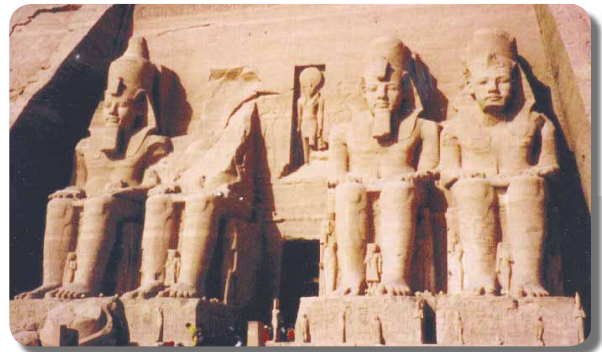
★フェスティバル開催期間中は午後5時30分に閉館させていただきます。



2月24日(土)
午前9時30分～12時
いわきワシントンホテル椿山荘

アトラクション

- ◎トーンチャイム演奏
いわき音楽療法研究会ミュージックフォレスト
- ◎吹奏楽演奏
福島県立湯本高等学校吹奏楽部



「世界遺産」の考え方が生まれたアブ・シンベル神殿 (写真：松本恒雄先生)

講演会

『世界遺産が語りかけるもの』 —生涯学習の視点から—

いわきユネスコ協会副会長 松本 恒雄先生

世界遺産を単なる観光資源としてではなく、普遍的な人類共通の財産としてとらえ、あわせて世界遺産がわれわれに語りかけているものは何か、について考えたい。

参加団体の展示と発表

◎サークル紹介

サークル活動の様子を写真やビデオで紹介

◎作品展示

陶器、水墨画、ちぎり絵、おりがみ、パッチワーク、俳句



◎体験

お茶会、聞香会、囲碁、おりがみ、健康体操、太極拳、要約筆記ボランティア、パソコンでのカレンダーや名刺、ハニワ・キーホルダー・手すきハガキ作り



◎実演・公開

おりがみシアター作り、おはなし会、陶芸、社交ダンス

◎発表

舞踊、詩吟、謡曲、篠笛演奏、会員スピーチ

◎喫茶コーナー

お茶と手作りケーキを用意します

◎国際理解

英会話、韓国語講座の公開と体験、講演「アメリカを訪ねて」「イギリスを訪ねて」



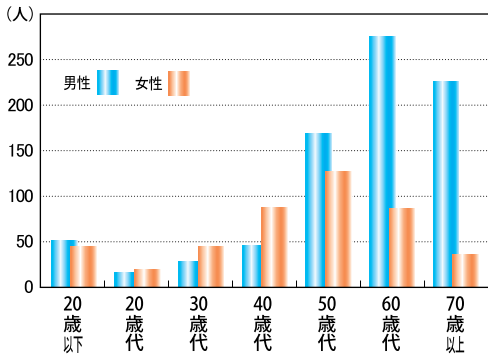
とん汁
100円で
提供します

T1ビル各店舗の
割引券も用意します

生涯学習に関する調査研究

いわき市ITサポートセンター利用者に関する調査

=ヘルプデスク相談とIT小レクチャー利用状況の分析=



第1図 ITヘルプデスク相談者年齢層

設置され、窓口・電話・メール・FAXによる相談業務を行っている「ITヘルプデスク」

「ITヘルプデスク」

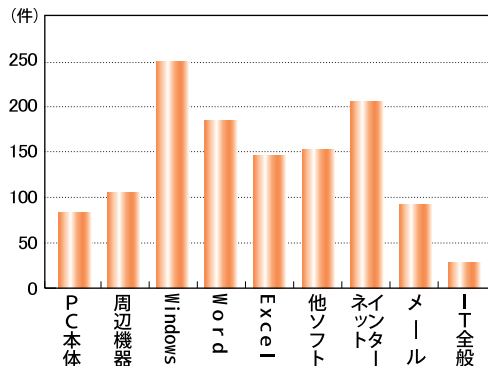
ヘルプデスクは、プラザ5階に設置され、窓口・電話・メール・FAXによる相談業務を行っている「ITヘルプデスク」

今年度からいわき市生涯学習プラザが業務運営しており、情報コーナーの公開パソコンの利用者にも、プラザと連携したサポートが可能となっています。

いわき市ITサポートセンターは平成15年度に開設され、市民の方のパソコン利用に関する質問や相談にお答えしてきました。

利用者の男女別年齢層は、男性では、60歳代を中心に50歳以上が大部分を占めています。一方、女性には50歳代を中心に低い年齢分布となっています(第1図)。これらは、高齢者のパソコン利用や家庭でのインターネット利用が進んだためと考えられます。

相談内容は、パソコン機器やWindows®の基本的な操作や各種ソフトウェアの使い方に関する相談が多く、高齢者にとって感覚的にわかりにくいパソコン利用の問題が現れているようです。



第2図 ITヘルプデスク相談内容

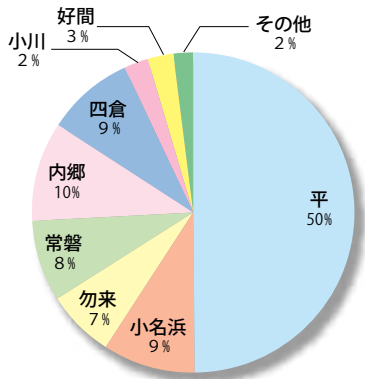
ます。電話と窓口での相談が大部分を占めています。窓口では、実際にパソコンを持ち込んでの相談が多く寄せられています。

「IT小レクチャー」

IT小レクチャーは、文字入力やデジカメなど7種13講座を10名定員の小講座で毎月実施し、11月末までに、延べ1200名の受講申し込みをいただいています。

受講者の年齢層は40～60歳代に集中しており、男女比に大きな差はありません。就業者の受講も4割を超えています。

受講者の居住域は平地区が半数を占めています。山間地を除き、市内全域の方が受講していることがわかります(第3図)。



第3図 IT小レクチャー受講者居住地

生涯学習プラザへのアクセス

- JR常磐線いわき駅より徒歩9分(600m)
- 常磐自動車道いわき中央ICより車で約10分(5km)

〒970-8026
 いわき市平字一丁目1番地 ティーワンビル内
 TEL:0246-37-8888 FAX:0246-22-5555
 電子メール:info@isgp.jp
 ホームページ:http://gakusyuplaza.city.iwaki.fukushima.jp/

